令和7年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立東小学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	登場人物の言動の目的として適切なものを選ぶ。	75.3	「話し合いの様子」の内容理解においては安定した正答率を示しており、登場人物の気持ちや行動を読み取る力が比較的高い傾向にある。また、相手に伝わりやすい説明をするために、図や表を効果的に使う方法を理解していることが伺える。話し合い活動を多く取り入れ、分かりやすく説明するために、「自分の考え」「根拠を示す」「例を出す」など伝え方の方を示して学習を進めたことが成果につながったと考える。	説明的文章の読解において、文章と図表を結び付け、必要な情報を見付け出す問題に課題が見られた。他には、工夫して分かりやすく自分の考えを伝えるということに課題が見られた。特に、記述式の設問では、自分の考えを根拠とともに明確に述べる力が不十分であり、文章構成や語彙力の面での育成が必要と考える。
	漢字を使って書き直す。	75.3		
	自分の考えが伝わるように書き方を工夫する。	63.5		
	目的に応じて、文章と表を関連づけるなどして、必要な情報を見付け、書き表す。	60		
算数	はかりの目盛りを読むことができるか。	64.7	基本的な計算問題や数量の理解に関する設問では、全国平均以上の成果を上げており、学習内容が定着している。また、式を立てる力や、数の性質に関する理解もできている。授業の中で答えを出すだけでなく、「なぜそう考えたのか」を児童同士で説明し合ったり、発表する機会を設けたりしたことで、数と式に関する理解が深まったと考える。	資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表し計算することに課題がある。複数の条件を整理しながら思考を進める問題での正答率が低く、思考力や判断力を伴う問題解決型の学習をより重視する必要がある。図形の問題では、図形の性質を理解し、作図したり面積を求めたりすることに課題が見られる。
	コンパスを用いて平行四辺形が書けるか。	58.8		
	二つの図形に分割し、五角形の面積を求めることができるか。	42.4		
	示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができるかどうか。	74.1		
理科	ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための適切な顕微鏡の操作を選ぶ。	43.5	本校では、理科に対して興味関心が高く、観察や実験を通じて自然現象の理解を深めている。具体的には、身近な事象について問いをもち、実験から得た情報を基に答えを導く力において、全国平均を上回る結果が見られた。予想やまとめでは、グループで話し合う活動を取り入れ、自分の考えを広げられるようたしたことが成果につながったのではないかと考える。	実験や観察の結果を説明する際に、科学的な言葉を用いて根拠を明確に伝える表現力には課題がある。概念理解や考察の深まりが不十分なケースも見られた。今後は、「なぜそうなるのか。」を問い続ける授業づくりや、言語活動が必要と考える。
	水の蒸発について正しく説明されているものを選ぶ。	65.9		
	水が陸から海に流れることについて、水のゆくえを関連しているものを選ぶ。	63.5		
	水の温まり方についての実験の方法が、適切であったかを検討し、表現することができるか。	50.6		